

平成20年10月31日

各 位

会社名 ブラザー工業株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 小池 利和  
 (コード番号：6448 東証・名証・大証 第1部)  
 問合せ先 執行役員 広報・総務部長 長谷川 友之  
 広報・総務部 奥山  
 (TEL 052-824-2072)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等をふまえ、平成20年8月1日に公表した平成21年3月期通期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)の連結業績予想を以下の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

## 記

## 1. 平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	570,000	45,000	42,000	27,500	102円67銭
今回修正予想(B)	530,000	30,000	33,500	22,500	84円02銭
増減額(B-A)	△40,000	△15,000	△8,500	△5,000	-
増減率(%)	△7.0	△33.3	△20.2	△18.2	-
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	566,378	53,503	46,535	27,110	98円46銭

## 2. 修正の理由

金融危機に端を発して全世界的に急速に景気の減速感が高まる中、企業の設備投資意欲の減退や、消費者の購買意欲の冷え込みなど、実体経済悪化の懸念が強まってまいりました。また急激かつ大幅な円高が進行するなど、先行きの不透明感が増しており、今後も厳しい経営環境が続くものと予想されます。

こうした状況の中、売上高は主に工業用マシン、産業機器において前回予想を下回る見込みです。また、主力の通信・プリンティング機器においても、想定為替レートの見直しと景気動向を反映して予想を引き下げますが、対前年度比では現地通貨ベースで増収を維持する見込みです。

営業利益は、ユーロなどの大幅な下落によるマイナス影響と売上減少により、対前回予想比で33.3%の減少を見込みますが、為替予約による効果で営業外の為替差益が見込まれるため、経常利益では20.2%、当期純利益では18.2%の減少を見込んでおります。

なお、平成21年3月期の通期連結業績見通しの前提となる、第3四半期以降の為替レートについては、1米ドル=100.00円、1ユーロ=135.00円を想定しております。(通期平均レートは1米ドル=102.89円、1ユーロ=149.30円)

セグメント別予想の詳細につきましては、本日発表の「平成21年3月期 第2四半期決算短信」に記載しておりますので、ご参照ください。

以 上